

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 433 (通算 765 回)

2022年5月17日(火)

大学教育の多様化と教学責任

教学マネジメントと質保証の実質化方策

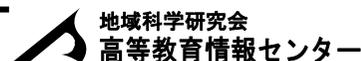
～ 「大学設置基準」「設置認可審査」「認証評価」「情報公開」の深化 ～

- ※ 「質保証システム部会」の“審議”と“まとめ”を踏まえて/学位プログラムとは～その実質化
- ※ 設置認可・届出制度による質保証/審査意見・附帯事項・指摘事項/設置基準の見直し/重要論点
- ※ 認証評価の制度と実情の検証/評価結果公表と国の責務/大学が自律的に取組む質保証と評価機関

● 講師陣 ●

- 日比谷潤子 氏 / (学) 聖心女子学院 常務理事
中教審 大学分科会 委員 質保証システム部会 副部会長
内閣官房 教育未来創造会議 構成員
- 浅田 尚紀 氏 / (公) 奈良県立大学 学長
中教審 大学分科会 質保証システム部会 臨時委員
元 大学設置・学校法人審議会 大学設置分科会 分科会長職務代理
- 前田 早苗 氏 / (国) 千葉大学 名誉教授
中教審 大学分科会 質保証システム部会 臨時委員

2022年5月17日(火) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町) & オンライン



日時: 2022年5月17日(火) 10:00 ~ 16:40

会場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩3分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 41,000 円(税込)

B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 44,000 円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 21,000 円(税込)

※ 「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用予定です。

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。

※ 当日参加(オンライン当日参加)とともに、音声CDをご希望の方には、別途CD代をご案内いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

(※参加申込みの折は、必ず FAX か E-mail にてお送りください)

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234) 1231 Fax: 03(3234) 4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 433

(該当する□に✓印を)

年 月 日

教学マネジメントと質保証の実質化方策

当日会場参加 オンライン当日参加 メディア参加

勤務先 _____

支払方法 当日払い 銀行振込

必要書類 請求書 見積書 領収書

所在地 (〒 _____)

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>10:00 }</p> <p>12:00</p>	<p>□ 学位プログラムの実質化と教学マネジメントの深化シナリオ ～ 3ポリシー／体系的な教育課程と教員編成／学修成果の可視化～ (学) 聖心女子学院 日比谷潤子</p> <p>1. 「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について(審議まとめ)」 (1) 学修者本位の教育に向けて (「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」、「教学マネジメント指針」から本審議まとめへ) (2) 全体の構成 (3) 教学マネジメントの重要性</p> <p>2. 教学マネジメント (1) 3つのポリシー (2) 授業科目・教育課程の編成・実施(「学位プログラム」) (3) 学修成果・教育成果の把握・可視化 (4) FD・SD、教学IR</p> <p>3. 情報公表 (1) 資質・能力の修得状況 (2) 修得状況のエビデンス (3) 学修目標の達成状況に関する情報 〈質疑応答〉</p>
<p>13:00 }</p> <p>14:50</p>	<p>□ 大学設置認可制度による質保証と今後の方向性 ～ 大学設置基準の見直し／専任教員から基幹教員へ／特例制度の導入～ (公) 奈良県立大学 浅田 尚紀</p> <p>1. 大学設置認可制度による質保証 (1) 認可と届出 (2) 設置計画への審査意見 (3) 認可・届出設置時の附帯事項 (4) 設置計画履行状況等調査(AC)の指摘事項</p> <p>2. 大学設置基準見直しの方向性 (1) 学位プログラムと情報公表 (2) 専任教員から基幹教員へ (3) 特例制度の導入</p> <p>3. 質保証における重要な論点 (1) 既存制度の効果的な運用 (2) 定員管理 (3) 教職員の資質能力の向上 〈質疑応答〉</p>
<p>15:00 }</p> <p>16:40</p>	<p>□ 認証評価制度・情報公開の検証と今後の方向性 ～ 内部質保証／国際適合性／受審負担軽減／情報公開の深化～ (国) 千葉大学 前田 早苗</p> <p>1. 認証評価の課題の検証 (1) 認証評価における評価方針の変遷 (2) 受審大学の負担 (3) 評価の形式化</p> <p>2. 情報公開のあり方の検証 (1) 大学としての情報公開の課題 (2) 認証評価機関の評価結果の公表のあり方の検証 (3) 国の責務としての情報公開</p> <p>3. 大学が自律的に質保証に取り組むための認証評価制度とは (1) 「内部質保証」は大学に浸透しているか (2) 学習成果の可視化、測定の前にはすべきことは何か (3) 大学の国際的通用性を高めるために何ができるか (4) 認証評価機関はどうあるべきか 〈質疑応答〉</p>